

令和7年12月11日

山元町議会議長 菊地康彦 殿

派遣議員 大和 晴美 渡邊千恵美
岩佐 秀一 伊藤 貞悦

議員派遣結果報告書

宮城県議会及び宮城県町村議会議長会主催の「宮城県議会・市町村議会議員セミナー」に出席しましたので、その結果を下記のとおり報告します。

記

- 1 研修目的 研修を通して議員の資質向上を図る。
- 2 研修月日 令和7年10月28日（火）
- 3 研修場所 宮城県庁
- 4 研修内容
講 演 「地方議会議員の環境整備等について」
講 師 全国都道府県議会議長会 議事調査部長 堀井 徹 氏
- 5 研修概要
 - (1) 厚生年金への地方議会議員の加入
厚生年金への地方議会議員の加入の実現について、多くの議会で可決された意見書をもとに、三議長会（県・市・町村議会議長会）で政府、与野党に要請した。
 - (2) 学校と議会が連携する主権者教育の推進
三議長会で総務省・文部科学省に予算化や主権者教育のさらなる実施、議長会の事業に対する支援等を要請した。
 - (3) 多様な人材の議会参画の促進
加藤女性活躍・男女共同参画担当大臣から、会議規則への家族の看護や配偶者の出産の欠席事由としての明文化について要請があった。
- 6 まとめ
公的年金適用の拡大が進んでいる中、県議会では「厚生年金への地方議会議員の加入」にポイントを絞って、要請活動に力を入れている。
地方選挙では投票率低下や無投票当選の増加などの課題があるが、多様な人材の議会参画のためには主権者教育の推進が重要であると理解した。
本議会においても「なり手不足対策調査特別委員会」の今後の調査に資するものであった。